

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CONET		
○保護者評価実施期間	2025年 1月7日		～ 2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 1月7日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供(支援プログラム)	現状把握から課題設定、到達目標をアセスメントやモニタリングでの個々の特性やニーズにあった個別支援計画の作成(5領域の関連性)支援プログラムの目的と振り返りと専門性を考慮したプログラム提供を意識しています	日々のカンファレンスでの具体的な目標達成にむけた課題による現状の分析を職員間で把握し共有する
2	環境体制整備・満足度(活動プログラム)	本人意思の尊重を大切にしています。療育スタッフの質やスキルの向上として研修参加。専門職員による専門的支援実施によるプログラムの設定と実施を行っています	個々の活動プログラムの目的と振り返りPDCAの明確化の活用と職員の質の向上への育成を増やす
3	保護者との説明等(家族支援・地域支援)	面談や交流を通じて成長過程でのライフステージや日々の家庭での悩みや困りごとなど解決策を助言やサポート、関係機関、地域での包括的な支援を踏まえ日々成長を共有しています	家族支援や関係機関、園、との連携から見えたものを具体的に必要性を明確化する

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の様子を保護者へ発信する(アプリの活用等)	毎月配布のおたより、日々の連絡帳や口頭(送迎時やモニタリング時)で利用時の様子は情報発信共有できているが個々への画像等の発信が少ない	情報共有アプリの活用でもっと発信の場を設ける 個別のLINEに写真を送信する等検討も視野に入れるように工夫する
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	CONET						公表日	2025年 3月15日	
						利用児童数	16		
							回収数 16		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				1階にはとても広いスペースで体を動かすことができそうでした。夏はプール遊びも出来て喜んでいます。	1階、2階の活動スペースを設け活動に応じた環境の配慮を行っています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		1	日によるとありますが利用者に対していつもしっかり対応して下さっている印象です。	基準配置と専門支援プログラムが充分に行える体制を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		1	以前に伺った時には段差等は特に感じませんでした。	階段には手すりを設置、特性に応じ視覚での伝達を取り入れています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1	整理整頓されています。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1			利用者に合わせたプログラムを実施して下さっているといます	プログラムでの専門性を高めた支援を取り	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			2	合っていると思います		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1			保護者の観点からの課題についてもしっかり聞いて頂きそれに沿った計画を作成して頂きました		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1			書面にての説明があり実際に実施されていると思います。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1			支援行われています。おかげで気になっていたところも改善されています（場面の切り替えや話をじっくりと聞くこと）。	特にプログラムに沿った支援を提供してお	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		1	毎月発行されるプログラムはその月によって内容がちがうので本人も楽しめますし親も楽しみます。土曜日にしか参加できないイベントが平日にも少しやってもらえたら平日しか利用できない子も楽しめるのではないかと。思う。	長期休みでの平日の療育時間でもイベントとなるプログラムを取り入れるように今後工夫していきます。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14		1	1	イベントで他の施設の子とも一緒に活動することがありました（クリスマス会）	事業所間との交流は実施しましたが、保育園、幼稚園、地域間としては具体的な交流会は次年度計画しております。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				打ち合わせ時間が設けられゆっくりに話げできました。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				丁寧な説明でした。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14			2	施設でされている声掛けを教えていただき家でも実践しています。	モニタリング実施時に家庭の様子を聞き取り連携できる手段方法があれば共有しています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16				連絡帳と通じて伝えられています。送迎時に細かく様子を伝えてくれてわかりやすいです。いつもありがとうございます。送迎時にその日の様子を教えてください。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	1	1	面談もあり気軽に相談しやすいように思えます。利用して間もないのでまだわかりません。	モニタリング実施時や必要に応じて情報共有や助言をし連携をしています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1			連絡帳でそう感じます。		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13			3	クリスマス会のみしか参加した事ありませんが弟も参加できても楽しんでいました。兄弟向けではないけれどクリスマス会冬祭りに一緒に行くことで兄弟も楽しんでいるのもっとイベントを増やして欲しいです。利用して間もないのでわかりません。	次年度も保護者交流会やクリスマス会等交流の場を設けます。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			2	整備対応されていると思います。できる事とできない事もあると思いますがこれからも利用している子供たちが安心して楽しく過ごせる場所があるように願っています。利用して間もないのでわかりません。	事業所内相談支援を取り入れています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1			配慮されていると感じております。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			2	急なお休みもLINEを通して連絡できるのでとても助かります。普段の活動の様子を写真等で配信してもらえたらもっと安心して預けられると思います。親が見えない分SNSやLINEなどでもう少し共有（画像等）してほしい。	今後もおたより、HP、LINE等の活用で発信します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16				同意書の説明もあり留意されていると思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		2	書面に算定時期も記載されたものを頂いております。	次年度も安全計画等の算定通りに実施します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		2	利用開始前の面談で書類と共に説明があり安心しております。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16				安全の確保支援行われていると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16				事故ではありませんが発熱時にすぐ連絡があり細かく状況を伺えました。すぐにLINEや電話で知らせてくれます。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15			1	先生の顔や名前も覚えとても信頼している様子です。とても楽しみにしています。「●●先生かな～？」と声にだしています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16				●●先生はきょうはいるかと言いき楽しみにしているように思います。「●●ちゃん、君が居た！」と教えてくれます。とても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				送迎も家まで来て頂けるので助かっています。とても満足しております。普段の活動の様子が口頭出なくアプリなどを使って活動の様子が見れたらいいと思います。	ご意見を参考にさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		C O N E T		公表日		2025年 3 月 15 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		他事業所の交流はあるが、園、地域交流は次年度計画している。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7		モニタリング実施時や必要に応じ特性による関わり方や連携することを提案し取り組んでいるが、研修会はできていない	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			毎月ヒヤリハット報告をし防止に向けた改善策を検討している
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7				